

YU海外研究グローイングアッププログラム審査要項

1. 事業の目的

本学の若手教員等を海外の大学・研究機関に派遣し、海外の先進的な教育研究の実情を体験させるとともに、当該教員が自らのアクションプランに基づき教育研究活動の研鑽を積むことにより、将来のテニユア獲得の動機付けや教育研究能力の向上に資することを目的とする。

2. 審査方法

派遣候補者の選考は、YU 海外研究グローイングアッププログラム評価委員会（以下「YUGUP 委員会」という。）が書面審査及びヒアリング審査を行う。

3. 審査方針

派遣候補者の選考に当たっては、次の諸点に留意して審査する。

(A) 書面審査

(1) 評価のポイント

- ・ 研究構想や研究目的が具体的かつ明確に示されているか。（「研究目的」欄）
- ・ 研究目的を達成するため、研究計画は十分に練られ、その進め方が着実なものとなっているか。（「研究計画」欄）
- ・ 研究対象、研究手法やもたらされる研究成果等について、独創性や革新性が認められるか。（「研究目的」、「研究計画」欄）
- ・ コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力及びディベート能力の開発が期待されるプログラムとなっているか。（「研究計画」欄）
- ・ 派遣先でなければ、達成できない取組みであるか。（「受入先における研究の必要性」欄）
- ・ 派遣先は本学の学術交流協定校であるか。派遣先の受け入れ環境（指導者、教育研究環境）は妥当か。（「受入先における研究の必要性」欄）
- ・ 従来受けていた研究費での研究経過・研究成果等は期待どおりであったか、また、その成果等が、今回の研究計画に十分生かされているか。（「これまで受けた研究費とその成果等」欄）
- ・ これまでの教育研究業績等から見て、研究課題に対する高い遂行能力を有していると判断できるか。（「教育研究業績」欄）
- ・ 派遣部局において、候補者の教育研究能力が充実向上する見込みがあり、派遣終了後、更なる教育研究上の研鑽と継続的な展開を期待できるか。（部局長の承諾書）
- ・ 申請者が指導する学生（大学院生を含む）を派遣先研究機関において、一週間程度指導する予定があるか。

(※評価のポイントの () 書きは、申請書における主な参照箇所を示します。)

(2) 評価基準（別紙1）

YUGUP 委員会は、評価要素①～③について、次の評価基準により評点を付す。

| 評 点 区 分 | 評 価 基 準 |
|---------|----------|
| 4 | 非常に優れている |
| 3 | 優れている |
| 2 | 良好である |
| 1 | やや劣っている |

(3) ヒアリングを受ける候補者の決定

YUGUP 委員会は、書面審査を基に、ヒアリングを受ける候補者を決定する。

なお、審査に当たっては、女性教員の選考にも配慮する。

(B) ヒアリング審査（別紙2）

YUGUP 委員会は、ヒアリングを実施し、評価要素①～③について、おのこの次の評価基準により評点を付す。

ヒアリング審査評価基準

| 評 点 区 分 | 評 価 基 準 |
|---------|----------|
| 4 | 非常に優れている |
| 3 | 優れている |
| 2 | 良好である |
| 1 | やや劣っている |

(C) 最終審査

YUGUP 委員会は、書面審査及びヒアリング審査の評価結果を基に、合議により派遣候補者を決定する。

4. その他

(1) 開示・公開等

① 審査は、非公開とし、審査の経過は公にしない。

② 「YU海外研究グローイングアッププログラム」の取組が決定された後、HP に情報を公開する。

(2) 利害関係者の排除

申請者と同一部局に所属する者、または、申請者と親族関係にある者など、申請者と利害関係にある委員は、当該申請者について審査を行わないものとする。

書面審査の場合は、当該委員を除く委員で審査を行うこととし、合議審査の場合は、当該審査には参加しないこととする。

また、委員が中立・公正に審査を行うことが困難であると判断される申請についても、審査を行わないものとする。

YU海外研究グローイングアッププログラム審査表

研究課題名

YUGUP 委員会委員
審査員名

◎書面審査

| 評 価 要 素 | 評 点 |
|---|-----|
| ① 研究計画や研究目的が具体的かつ明確に示されており、その進め方が着実なものとなっているか。また、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力及びディベート能力の開発が期待されるプログラムとなっているか。 | |
| ② 派遣先の受け入れ環境（指導者、教育研究環境）は妥当であり、派遣先でなければ達成できない取組みであるか。 | |
| ③ 従来受けていた研究費での研究経過・研究成果等は期待どおりであったか、また、これまでの研究業績等から見て、派遣終了後、更なる教育研究上の研鑽と継続的な展開を期待できるか。 | |

| |
|----|
| 備考 |
|----|

YU海外研究グローイングアッププログラム審査表

研究課題名

YUGUP 委員会委員
審査員名

◎ヒアリング審査

| 評 価 要 素 | 評 点 |
|---|-----|
| ① 研究計画や研究目的が具体的かつ明確に示されており、その進め方が着実なものとなっているか。また、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力及びディベート能力の開発が期待されるプログラムとなっているか。 | |
| ② 派遣先の受け入れ環境（指導者、教育研究環境）は妥当であり、派遣先でなければ達成できない取組みであるか。 | |
| ③ 従来受けていた研究費での研究経過・研究成果等は期待どおりであったか、また、これまでの研究業績等から見て、派遣終了後、更なる教育研究上の研鑽と継続的な展開を期待できるか。 | |

備考